

令和6年1月（睦月）

令和6年1月1日

女良公民館だより

氷見市女良公民館

館長 清水 孝則



新年明けましておめでとうございます

令和も6年目を迎えました。皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。日頃より公民館活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

女良地区の皆様がさらによりよい一年を過ごされることを心からお祈り申し上げます。

今年もよろしくお願い致します。

12月4日にワカメの種付け作業が ようやくできました！

今年は天候や海水温の変化など多くの条件が影響し、ワカメの苗が手元に届く日がなかなか決まらず、気をもむ日々が続きました。そのため、例年協力頂いている氷見高校の生徒さんや毎年関わって下さっている方々が参加できないという事態になりました。そんななか、12月4日（月）に地域の有志数人の方々と共に、灘浦小学校4年生の皆さんが「総合的な学習の時間」で取り組む学習につなげようと、駆けつけてくれました。子どもたちが駆けつけてくれたおかげで、元気をもらい、無事種付け作業が終了しました。

この時、「子どもたちは地域の宝だ」と再確認しました。



2月下旬に刈り取り体験と試食会を計画しています

2月下旬にワカメの刈り取り体験を実施したいと考えています。その折には、コロナ禍で実施できなかった試食会なども計画し、女良地区の皆様の交流の場になりたいと考えています。実施日が決まりましたら、日程をお知らせしますので、地域の皆様、ぜひ参加頂きますようお願い致します。



ミニ門松づくりを通して、新年の準備をしました。

12月17日（日）恒例のミニ門松づくりを産業文化センターで実施しました。門松に込められた意味を知り、家族で力を合わせ竹切りに取り組みました。参加された皆さんは慣れた手つきで作業に取り組んでいました。子どもたちの竹を切る姿も堂に入って、頼もしく感じられるひとときでした。



「笑う門には福来る」

皆さんの笑顔が輝いています